事 美奋亏 00 / /8		00778
----------------------------	--	-------

事務事業名		川面下水処理場・水処理事業(下水道特別会計)									
担当部名	下水道部	室課名	水再生室	室課長名	井戸 清隆						

	7.122 7.2/ 02 19	// / / / / / / / / / / / / / / / / / /															
(1)	事業開始年度	昭和39年度			改正	• 水:	再生室の組	織改正									
(2)	直近の改正	平成17年度			内容	_	方監視システ		拿入								
(3)	根拠法令等	下水道法、廃	棄物の	処理及	び清掃に	に関	する法律、オ	K質汚瀏	閩防止	法等							
		☑ 全部		一部	(上乗せ	、横	出し等あり)			なし	(国•府制	度もしくは	法令等でī	市が実施す	 る義務あ	IJ)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした	場合は	その説	明											
(5)	総合計画の体系	章 6	6 安全	全で魅	力的なま	きちこ	づくり				節		2		細節	70	
		:			区	分	☑ 内部管	理		建設	事業	□ その'	也	<u> </u>	<u>:</u>		
		対象 (誰を、何を)			範囲	∰等	川面下水処	:理場へ	·流入·	する下	水(汚水及	及び雨水)					
(6)	目 的	目標(どういう状態に	こしたいの)か)			ついては、下 ついては、浸										
		結果 (どのような効果	果が得られ	れるのか	水環	境及	及び生活環境	竟が向上	<u>-</u> する	0							
(7)	争未概安	理場に圧送し	ノている。)貯水能	0			性汚泥法に。										
(8)	H27事業別 予算コード	会計	3	款	1	1	項	1		目	3	大事業	2	中事業	1	小事業	1
			項	目					26年原 4年度				平成2 (2015	7年度 年度)		平成28 (2016年	
					予算(千円)				決算(千円)	予算(-	千円)	決算見記	し(千円)	予算(=	千円)	
		事業費(A)					187,620			174,369		184,224		169,924		172,873	
		人件費		員数	/			9.00			9.00		9.00		9.00		9.00
				額(B)	<u> </u>	円		71,478			67,653		71,604		71,604		71,388
	市業弗し		事業費)	259,09			•			· ·		241,528			244,261
(9)	事業費と 財源の内訳	;	特定財派	源(C) 国			195,728								241,528		189,395 0
		<u> </u>		<u>'''</u> 府			0				0	+		0			0
		訳		<u>…</u> の他			195,728					1					189,395
			市負担	<u>1</u> (D)				63,370)		58,675		57,127		0		54,866
		\bigcap	地	方債				()		0		0		0		0
		内	そ	の他				63,370)		58,675		57,127		0		54,866
		<u> </u>	—————————————————————————————————————	设財源				(0		0		0		0
		貝	け源計(€	C+D)				259,098	3		242,022		255,828		241,528		244,261
		□ 直接	と 実施		<u> </u>			1	1	<u> </u>			- N. J. D. A. I				
		☑ 委託又は一部委託					去計步	Ⅰ日本	こく・・ニ	ァナスエン	ジニヤリング	7株式会社	<u> </u>				
	実施方法	☑ 委託	E又は一	·部委託	;		委託先	3									
(10)	実施方法	☑ 委託	E又は一 	·部委託 ———	;	主	安託元	③ ・ 遠プ				理施設維持	寺管理業務	务			
(10)						Ė	きな委託内容	③ 遠グ ①				理施設維持	寺管理業務	务			
(10)	(該当するもの		E又は一		;	主		③ 遠力 ① ②				理施設維持	寺管理業務	务			
(10)	(該当するもの		カ金•負担			<u></u>	きな委託内容	③ 遠グ ①				理施設維持	寺管理業務	务			

事業番号 00778

)指標等	指標項目	■		項目		6年度 年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			高級処理水量		目標値	(単位:)	8,62	23,566.00	7,474,220.00	7,470,000.00
		指標 内容			実績値	(単位:)	7,6	35,344.00	6,066,194.00	
	1					達成度(%)		88.5	81.2	
_		目標値	流入水量		単位当た	総事業費(単位:千円)		0.03	0.04	
1) ;;		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
活動指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
			法令に係る排水	基準を下回る処理水量	目標値	(単位:)	7,63	35,344.00	6,066,194.00	6,060,000.00
		指標 内容			実績値	(単位:)	7,63	35,344.00	6,066,194.00	
	1					達成度(%)		100.0	100.0	
2		目標値 の積算	排水基準値を下 	回っている高級処理水量	単位当た	総事業費(単位:千円)		0.03	0.04	
\smile		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
成果指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
の が 困 難 標	1	活動内容					目標			
単な場合 場で示す	2	成果 内容					達成状況			
	•	4	- 今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 縱稅	□縮小	`	口層	秦	終期の設定
(4)総·	合評		評価の説明	事務の簡素化等、効果	率的に実施 :のために ^取	見有施設において、雨え				

所属名	水再生室				
事務事業番号	00778	事業名	川面下水処理場・水処理事業	事業区分	内部管理

	<u>現点からの</u> の視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
т III 	1071九	四丁 四 赤	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	2	
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	3	
				5	 点
(1)	妥当性 (20点)	18	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	3	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	
			4 天心思報はする頃といる。(3点) 4 利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	3	
			・	5	 点
			1 音歌的な / プで中氏	3	
			① / 1 到 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	5	
			a. 冶動指標や有効指標には、他川との比較も可能な、それぞれがの定量的な指標設定をしている。(5点) ②事業の目的と受益者が一致していますか。	3	
			②	5	
(2)	有効性 (20点)	20		5	点
	(= - /III/		③事業は目標どおりに進捗していますか。 	E	
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点) 	O O	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		<u> </u>
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。		<u> </u>
			b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
	3) 効率性 (20点)		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	_	
(3)		18	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
	(20)11()		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	_	
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	_	
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 ・・・・・・・		
			内部管理 		点
			②サービスの水準は適正ですか。		<u>-</u>
(4)	公平性 (20点)	0	内部管理		点
	(20点)		③適正な受益者負担を求めていますか。 		
			内部管理		点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。 		
			内部管理		点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
(5)	持続可 能性	20	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
, - /	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	「点合計 点満点)	95	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	水再生室	事務事業番号	00778			
2 各視点	いらの評価の点数で	は表れない事項(必要に	応じて記載)	<u>-</u>		
3 事務事	事業の現状分析					
(1)本事業	の位置付け	主要な政策課題	☑ 部	として重点的な取組	□ その他	
(2)各視点	からの評価結果			妥当性 20 10 5 0 有 効性 効率性		
(3)現状分	近 が析 見	妥当性・有効性・効率性にで 適正な運用が出来ている。持 行うためにも、長寿命化計 関的な保守点検に取組んでしまた、省エネルギーを実践で 要である。	⊧続可能性については 画のもとで順次改築・ いる。	、耐用年数が大幅に過ぎた 更新を実施し、他の設備等	:設備の多い中、計画的 についても延命化に向り	な運用 ナた効
4 子の 州	h(国・存の動向など y	á該事業に関係する特記	(車項)			
- C 07	5 (日 川) V/ ∌川円'み に、 =	1以子木(〜 大 ボッツ1寸配	· ナグ・			

尹未留写 00//3	事業番号	00779
--------------	------	-------

事務事業名		南吹田	下水処理場・水処理事業(下水道特別会	計)	
担当部名	下水道部	室課名	水再生室	室課長名	井戸 清隆

	丁 勿于未以他	N 文													
(1)	事業開始年度	昭和43年度			改正		再生室の組織改								
(2)	直近の改正	平成17年度			内容	•遠:	方監視システム	の導	入						
(3)	根拠法令等	下水道法、廃	産棄物の	処理及	び清掃に	に関	する法律、水質	汚濁	防止法	,					
		☑ 全部		一部(上乗せ	、横	出し等あり)		□ <i>t</i>	よし (国・府制	削度もしくは	法令等で	市が実施す	⁻ る義務あ	IJ)
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした	場合は・	その説明	明									
(5)	総合計画の体系	章 (6 安全	全で魅力	 り的なま	きちつ	づくり			節		2	;	細節	70
			<u> </u>		区	分	☑ 内部管理		□ 3	 建設事業	□ その	 他			
		対象 (誰を、何を)			範囲	事等	南吹田処理区均	域内(の下水	(汚水及び雨	水)		l		
(6)	目的	目標 (どういう状態に	こしたいの	か)			し ついては、下水 ついては、浸水						きを図る。		
		結果 (どのような効り	里が得らか	(スのか)	∖│水環	遺境 及	及び生活環境が	向上	します。	o					
(7)	事業概要 	雨水について	Cは、夾架 	推物の№ -			関し、神崎川に放 易な処理を行い、		《被害る ———	を防止するため	T I		Ī	0	.1.
(8)	予算コード	会計	3	款	1		項 1		目	4	大事業	2	中事業	1	小事業 1
			項	I					6年度 年度)				?7年度 5年度)		平成28年度 (2016年度)
							予算(千円)			算(千円)	予算(千円)	決算見込	(千円)	予算(千円)
		事業費(A)				3		9,431		374,168	3	430,784		409,324	422,985
		┃ 人件費		員数 ———				1.00		12.00	+	11.00	-	11.00	
		tan tan	総額 (B)		千	円	87,362		90,204				87,516	87,252	
	事業費と		事業費(1		476,793			464,372	+		· ·		
(9)	財源の内訳		特定財派	^{訳(し)} 三 国			414,062			386,393	0 0		2 496,840		439,001
		内 		<u></u> 存				0	0		+		,		0
		訳 · ·		<u></u> の他			414	1,062	386,393		-			496,840	439,001
			市負担	(D)			62	2,731			+		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		71,236
		<u></u> 内	地	方債				0		C		0		0	0
		訳		の他			62	2,731		77,979		74,148		0	71,236
		<u> </u>		財源			4=0	0		(0		0	
			け源計(€	(+D)			4/6	5,793		464,372	2	518,300		496,840	510,237
		□直接	关		T			1	日本と		ジニヤリン・	が株式会社	<u> </u>		
							委託先	2		- , , , , ,		111.2421			
		☑ 委託	E又は一	部委託				3							
(10)	実施方法					È	な委託内容	運転	操作業	美務、水処理が	を設維持管	理業務			
(10)	(該当するもの は全部チェック)							1							
	IST HP / T / / /	□補助	カ金・負担	金金			交付先	2							
								3							
		□ その	他				内容								

事業番号 00779

2 評)指標等	指標項目	■		項目		平成2 (2014	6年度年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)		
			高級処理水量		目標値	(単	i位:m3)	19,04	46,840.00	20,352,680.00	20,000,000.00		
		指標 内容			実績値	(単	i位:m3)	19,52	21,340.00	20,555,633.00			
	1					達成度	(%)		102.5	101.0			
		目標値			単位当た	総事業費	뤛(単位:千円)		0.02	0.02			
1		の積算 方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00			
活動指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00		
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00			
	2					達成度	(%)	0.0		0.0			
		目標値						総事業費	遺(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法			単位当たりコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00			
			法令に係わる排法	水基準を下回る処理水量	目標値	(単	i位:m3)	19,52	21,340.00	20,555,633.00	20,000,000.00		
		指標 内容			実績値	(単	!位:m3)	19,5	21,340.00	20,555,633.00			
	1				達成度(%)			100.0	100.0				
		目標値 の積算	排水基準値を下回っている高級処理水量		単位当た	総事業費	党(単位:千円)		0.02	0.02			
2) 战		方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00			
成果指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00		
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00			
	2						(%)	0.0		0.0			
		目標値 の積算			単位当た	総事業費	賃(単位:千円)		0.00	0.00			
		方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00			
の の が 困指	1	活動内容						目標					
困難な場合	2	成果内容						達成状況					
			」 今後の方向性 (実施計画)	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	☑ 継続		□縮小		□ 房		終期の設定		
(4)総	4)総合評価	価	評価の説明	各処理場及びポンプ 事務の簡素化等、効果 また、放流水質向上の 流水質の改善を図って	具的に実施 のため、現	している。 見有施設に	。 こおいて、高度	処理施訓	とと でいま とり	テ活性汚泥法等 <i>0</i>	つ運用を行い、放		

所属名	水再生室				
事務事業番号	00779	事業名	南吹田下水処理場・水処理事業(下水道特別会計)	事業区分	内部管理

	<u>現点からの</u> の視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
т III 	1071九	加州	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	2	
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	3	
				5	 点
(1)	妥当性 (20点)	18	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	3	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	
			4 天旭思義はする頃といる。(3点) 4 利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	3	
			・	5	 点
			1 存就的な / プで中氏	3	<i></i>
			① / 1 到 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	5	
			a. 冶動指標や有効指標には、他川との比較も可能な、それぞれがの定量的な指標設定をしている。(5点) ②事業の目的と受益者が一致していますか。	3	
			②	5	
(2)	有効性 (20点)	20		5	点
	(= - /III/		③事業は目標どおりに進捗していますか。 	E	
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点) 	O O	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		<u> </u>
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。		<u> </u>
			b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。	_	
(3)	効率性 (20点)	18	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
	(20)11()		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	_	
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	_	
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 ・・・・・・・		
			内部管理 		点
			②サービスの水準は適正ですか。		<u>-</u>
(4)	公平性 (20点)	0	内部管理		点
	(20点)		③適正な受益者負担を求めていますか。 		
			内部管理		点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。 		
			内部管理		点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
(5)	持続可 能性	20	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
, - /	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	「点合計 点満点)	95	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	水再生室	事務事業番号	00779				
2 各視点	からの評価の点数では表	hない事項(必要に	に応じて記	!載)	•		
3 事務事	業の現状分析						
(1)本事業の		主要な政策課題 としての取組		☑ 部。	として重点的な取組		その他
(2)各視点	からの評価結果		持続可能性、		妥当性 20 10 5 0 材率性		
(3)現状分析	適正な を行う 果的な	運用が出来ている。キ ためにも、長寿命化計 保守点検に取組んで 、省エネルギーを実践	持続可能性 †画のもとで いる。	Eについては ご順次改築・	防止・公共用水域の水質係、耐用年数が大幅に過ぎた 更新を実施し、他の設備等 厳しくなる水質基準に対応す	−設備の多し についても	ハ中、計画的な運用 延命化に向けた効
4 その他	(国・府の動向など、当該事	工業に関係する特証	记事項)				

事務事業名	南吹田下水処理場汚泥処理事業(下水道特別会計)								
担当部名	下水道部	室課名	水再生室	室課長名	井戸 清隆				

	争務争耒の修	发																			
(1)		昭和46年				效正 内容	水	再生室の糺	且織改	疋正	• ;	遠方監視	システム	ムの	導入 ·焼	却炉の廖	・ 企及び ジャン・ アン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	示 泥脱水	方	法の変更	
(2)	直近の改正	平成22年	·			1,17															
(3)	根拠法令等	下水道法、	廃棄物	物の処	1理及ひ	清掃に	こ関	する法律、	水質	汚濁	阞	5止法									
		☑ 全部			一部(上	上乗せ、横出し等あり)					□ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)										
(4)	市単独事業区分	一部にま	・エック	した場	湯合はそ	の説明)説明														
(5)	総合計画の体系	章	6	安全	で魅力	的なま ⁻	ちつ	づくり					節			2		細節		70	
		: :				区分	·}	☑ 内部	管理		I	□ 建設	事業		□ その他	ļ					
		対象 (誰を、何を)				範囲	囲等 南吹田・川面処理区内の下水処理過程で発生する汚泥等														
(6)	目 的	目標(どういう状態にしたいのか)				汚泥ス	汚泥などを適正に処理処分する。														
		結果 (どのような効果が得られるのか)					生活環境が向上する。														
(7)		ピコンホスト化及びセメント化を行い、再利用している。									壬業者										
(8)	H27事業別 予算コード	会計		3	款	1		項	1	1		目	4	;	大事業	2	中事業	1		小事業	2
		項目								平成2 2014		年度 F度)					7年度 年度)			平成28 ² (2016年	
							,		千円)		決 算(千円)		予算(千	-円)	決算見	 込(千円	1)	 予算(千	円)
			事	業費((A)				510	,512			469,70	01		521,559		467,7	709	ļ	510,522
		人件費		職員	数	人	,			5.00			5.0	00		5.00		5.	.00		5.00
		八仟貝		総額	(B)	千円	၂		39	,710			37,58	85		39,780		39,7	780		39,660
		総事業費(A+			4+B)				550	,222		507,286		86	561,339			507,489		ļ	550,182
(9)	事業費と 財源の内訳		特定	財源					467	,751	751 4		408,10	03	471,409			507,4	189		464,068
	※1///ボックト 1部へ	内 —		<u> </u>						0				0		0			0		0
		訳		アンスター アンファイン アンファイン アンファイン アンファイン アンファイン アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア					467	0	-		400.10	0		471 400		F07.4	0		0
				<i>その</i> 負担(2,751 2,471	╁		408,10 99,18			471,409 89,930		507,4	0		464,068 86,114
		$\overline{}$.1	地方						0	lacksquare		00,10	0		0			0		0
		内		その					82	2,471			99,18	83		89,930			0		86,114
		<u> </u>		一般	 財源					0				0		0			0		0
		•	財源	計(C	+D)				550),222			507,28	86		561,339		507,4	189	ļ	550,182
			接実施	拖																	
									,		+				ニヤリング	株式会	性				
		☑ 乽	き託又!	さ一音	『委託			委託先				フリーン角									
	実施方法					-		- #: 禾红巾!	灾			太平洋セ				レ業数学	<u> </u>				
(10)	(該当するもの							な委託内容	台	<u>退力</u> ①		工化建筑	床TF未存	カ/ -	コンポスト	山未伤守	F				
	は全部チェック)	□ね	輔助金∙	·負扣	金			交付先		2	_										
		- "			_			~ ~ 1 . 7 .		3											
			の他				内容				•										

事業番号 00780

2 評分	іші 🕠) 指標 :	指標項[項目			6年度 年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			汚泥脱水量		目標値	(単·	位:DSKg)	3,8	82,101.30	3,437,647.20	3,600,000.00
		指標 内容			実績値	(単·	位:DSKg)	3,8	39,139.60	3,576,520.80	
	1					達成度	(%)		98.9	104.0	
		目標値	乾燥固形物		単位当た	総事業費	貴(単位:千円)		0.13	0.14	
1 		の積算 方法			りコスト	一般財派	原(単位:千円)		0.00	0.00	
活動指標					目標値	((単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	((単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費	費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
			汚泥処分量		目標値	(単·	位:DSKg)	3,8	39,139.60	3,576,520.80	3,576,520.80
		指標 内容			実績値	(単·	位:DSKg)	3,8	39,139.60	3,576,520.80	
	1					達成度	:(%)		100.0	100.0	
2		目標値 の積算			単位当た	総事業費	貴(単位:千円)		0.13	0.14	
\smile		方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
成果指標					目標値	((単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	((単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費	費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が 困 難標	1	活動 内容						目標			
難には場合	2	成果 内容						達成 状況			
			- 今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続		□縮小	•		秦 止 □ ;	終期の設定
(4)総	合評	価	評価の説明	循環型社会の構築に効率的な運営を					L ント化によ	 る有効化を図って	いる。今後もさら

所属名	水再生室				
事務事業番号	00780	事業名	南吹田下水処理場汚泥処理事業(下水道特別会計)	事業区分	内部管理

	<u>現点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
ш та 	107]兀灬	四丁 四 赤	1. (1) 役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			① 投引力担の観点がら足で、1100 関子のあり力は廻りですが。 	2	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	3	
				5	 点
(1)	妥当性 (20点)	18	3社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	J	<i></i>
			○社会状況の変化で時間の経過に伴い、事業の失態思報が得れていると70%。 	5	 点
			a. 失過感報はする頃じている。(5点) 4 利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	3	<i></i>
			・	5	 点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	<u> </u>	
			① / 1 到 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	5	 点
			a. 冶動指標や有効指標には、他川との比較も可能な、それぞれがの定量的な指標設定をしている。(5点) ②事業の目的と受益者が一致していますか。	3	
			②	5	
(2)	有効性 (20点)	20	a. 事業の自的と受益有は光生に一致している。(5点) ③事業は目標どおりに進捗していますか。	<u> </u>	点
	_ - ? 			F	
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点) 	O O	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 		<u> </u>
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。 		<u> </u>
			b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(3)	効率性 (20点)	18	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
	(20),,,,		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 ・・・・・・・		
			内部管理 		点
			②サービスの水準は適正ですか。		
(4)	公平性 (20点)	0	内部管理		点
	(20点)		③適正な受益者負担を求めていますか。 		
			内部管理		点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			内部管理		点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
(5)	持続可 能性	18	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
, - /	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名 水	再生室	事務事業番号	00780				
2 各視点か	らの評価の点数では表れ	れない事項(必要に	に応じて記	載)			
3 事務事業	の現状分析					1	
(1)本事業の任	位置付け	主要な政策課題 としての取組		☑ 部。	として重点的な取組		その他
(2)各視点から	らの評価結果		持続可能性		妥当性 20 10 5 0 有効性 効率性		
(3)現状分析	妥当' ト化とt ら周辺	性については、民間委 2メント化により有効系 環境に配慮し、事業を	委託など検言 利用を進めて を効率的に新	対の余地が ている。持続 継続している	ある。有効性・効率性につし 気可能性については、設備! る。	ハては、脱z 更新を進め	Kケーキをコンポス 、省エネを図りなが
4 その他(国	園・府の動向など、当該事	業に関係する特証	記事項)				

事業番号 00781

事務事業名		Ш	園ポンプ場管理事業(下水道特別会計)		
担当部名	下水道部	室課名	水再生室	室課長名	井戸 清隆

		-													
(1)	事業開始年度	昭和43年度	,			水再生室の組織は		-							
(2)	直近の改正	平成17年度	,		P容 · j	遠方監視システム 	の導,								
(3)	根拠法令等	下水道法、廃	養棄物の処	処理及び	清掃に	関する法律、水質	[汚濁[防止法							
		☑ 全部		一部(上	.乗せ、柞	黄出し等あり)		□ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)							
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックしたち	易合はそ	の説明										
(5)	総合計画の体系	章	6 安全	をで魅力的	的なまち	っづくり			節	2	細節	70			
		:			区分	☑ 内部管理		□ 建設	事業	□ その他					
		対象 (誰を、何を)		範囲等	通等 川園処理分区内の下水										
(6)	目 的					 水中の夾雑物等の除去を行い、川面下水処理場に送水する。 水防除のための雨水排除をする。									
		結果 (どのような効果が得られるのか) 水環				i及び生活環境が	向上で	する。							
(7)	事業概要	排除する。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	3	款	1	項	1	目	4	大事業 2	中事業 1	小事業 3			
			項目	∃			平成26 (2014 <i>:</i>				27年度 5年度)	平成28年度 (2016年度)			
						予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)			
			事業費	(A)		95	5,197		87,883	107,665	90,575	93,290			
		人件費	、 職員数 ・ 職員数 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		人		1.00		1.00						
				(B)	千円			7,517			7,956				
	事業費と		事業費(/ 特定財源			1 10:	0 4 0 0		05.400	115.001	00 504				
(9)	財源の内訳		1寸人に 火川 ///			3,139		95,400		· ·	101,222				
		内内府					3,139 2,305 0		71,702	·	98,531	77,728			
			[<u> </u>					:		· ·				
		内 訳 `	<u>В</u>	<u> </u>		72	2,305		71,702 0		98,531 0	77,728 0			
			<u>В</u>	国 存 の他		72	2,305		71,702 0 0	81,515 0 0 81,515	98,531 0 0 98,531	77,728 0 0 77,728			
		: ()	原 その 市負担(地)	国 府 の他 (D) 方債		72	2,305 0 0 2,305 0,834 0		71,702 0 0 71,702 23,698 0	81,515 0 81,515 34,106	98,531 0 0 98,531 0	77,728 0 0 77,728 23,494 0			
		訳	原 その 市負担(地プ その	国 存 の他 (D) 方債 の他		72	2,305 0 0 2,305 0,834 0		71,702 0 0 71,702 23,698 0 23,698	81,515 0 81,515 34,106 0 34,106	98,531 0 0 98,531 0 0	77,728 0 0 77,728 23,494 0 23,494			
		(内訳)	原 その 市負担 地プ その 一般	国 存 の他 (D) 方債 の他 財源		72	2,305 0 0 2,305 0,834 0 0,834		71,702 0 0 71,702 23,698 0 23,698	81,515 0 81,515 34,106 0 34,106	98,531 0 0 98,531 0 0 0	77,728 0 0 77,728 23,494 0 23,494			
		(内訳)	を を 市負担 地フ その 一般 豺源計(C	国 存 の他 (D) 方債 の他 財源		72	2,305 0 0 2,305 0,834 0		71,702 0 0 71,702 23,698 0 23,698	81,515 0 81,515 34,106 0 34,106	98,531 0 0 98,531 0 0 0	77,728 0 0 77,728 23,494 0 23,494			
		(内訳)	原 その 市負担 地プ その 一般	国 存 の他 (D) 方債 の他 財源		72	2,305 0 0 2,305 0,834 0 0,834 0	日本メンラ	71,702 0 0 71,702 23,698 0 23,698 0 95,400	81,515 0 81,515 34,106 0 34,106	98,531 0 98,531 0 0 0 0 98,531	77,728 0 0 77,728 23,494 0 23,494			
		(内訳) 直接	原 その 市負担の セク 一般 財源計(C 安実施	国 府 の他 (D) 方債 の地 対財源 (+D)		72	2,305 0 0 2,305 0,834 0 0,834 0	日本メンラ	71,702 0 0 71,702 23,698 0 23,698 0 95,400	81,515 0 81,515 34,106 34,106 0 115,621	98,531 0 98,531 0 0 0 0 98,531	77,728 0 0 77,728 23,494 0 23,494			
	宝施方法	(内訳) 直接	を を 市負担 地フ その 一般 豺源計(C	国 府 の他 (D) 方債 の地 対財源 (+D)		72 30 30 103	2,305 0 0 2,305 0,834 0 0,834 0 3,139	日本メンラ	71,702 0 0 71,702 23,698 0 23,698 0 95,400	81,515 0 81,515 34,106 34,106 0 115,621	98,531 0 98,531 0 0 0 0 98,531	77,728 0 0 77,728 23,494 0 23,494			
(10)	実施方法	(内訳) 直接	原 その 市負担の セク 一般 財源計(C 安実施	国 府 の他 (D) 方債 の地 対財源 (+D)		72 30 30 103	2,305 0 0 2,305 0,834 0 0,834 0 3,139 ① 3,139		71,702 0 0 71,702 23,698 0 23,698 0 95,400	81,515 (0 81,515 34,106 (0 34,106 (115,621 ジニヤリング株式会	98,531 0 98,531 0 0 0 0 98,531	77,728 0 0 77,728 23,494 0 23,494			
(10)		(内訳) 更直	日 イ イ を担り その 一 で 計 に ま ま ま ま ま よ し こ と の と の と の と の と の と り ま ま ま と り と り と り と り と り と り と り と	国 () () () () () () () () () ()		72 30 30 30 4 5 5 5 5 5 5 5 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	2,305 0 0 2,305 0,834 0 0,834 0 3,139 ① 3 JII園7		71,702 0 0 71,702 23,698 0 23,698 0 95,400	81,515 (0 81,515 34,106 (0 34,106 (115,621 ジニヤリング株式会	98,531 0 98,531 0 0 0 0 98,531	77,728 0 0 77,728 23,494 0 23,494			
(10)	(該当するもの	(内訳) 更直	原 その 市負担の セク 一般 財源計(C 安実施	国 () () () () () () () () () ()		72 72 30 30 103 季託先	2,305 0 0 2,305 0,834 0 0,834 0 3,139 ① ① ② ③ J川園 ② J川園 ② ② J川園 ②		71,702 0 0 71,702 23,698 0 23,698 0 95,400	81,515 (0 81,515 34,106 (0 34,106 (115,621 ジニヤリング株式会	98,531 0 98,531 0 0 0 0 98,531	77,728 0 0 77,728 23,494 0 23,494			
(10)	(該当するもの	(内訳) 更直	T	国 () () () () () () () () () ()		72 30 30 30 4 5 5 5 5 5 5 5 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	2,305 0 0 2,305 0,834 0 0,834 0 3,139 ① 3 JII園7		71,702 0 0 71,702 23,698 0 23,698 0 95,400	81,515 (0 81,515 34,106 (0 34,106 (115,621 ジニヤリング株式会	98,531 0 98,531 0 0 0 0 98,531	77,728 0 0 77,728 23,494 0 23,494			

事業番号 00781

			指標項目			項目			6年度 年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			川面送水量		目標値	(単	·位:m3)	7,3	37,099.00	5,983,415.00	6,000,000.00
		指標 内容			実績値	(単	.位:m3)	6,5	08,024.00	5,117,877.00	
	1				達成度(%)		(%)	88.7		85.5	
(目標値			単位当た	総事業費	(単位:千円)	0.01		0.02	
1) ;T		の積算 方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00	
活動指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容		実績値	(単位:)		0.00	0.00		
	2					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00	
			確保のため、未外	掲げる公衆衛生上の安全 L理放流(雨水排水)回数	目標値	<u>í</u>)	単位:回)		23.00	23.00	23.00
		指標 内容	の半減を目標に関	削減させる。	実績値	<u>i</u>)	単位:回)		12.00	10.00	
	1				達成原		(%)		52.2	43.5	
(0		目標値 の積算 方法	未処理放流目標における雨水排力	回数23回(代表降雨年時 k回数46回÷2)*実績値	単位当た	総事業費	(単位:千円)		7,950.00	9,853.10	
2) 成		方法	は当該年時におり 数 	ハて、実際に削減できた回	りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00	
成 果 指標					目標値 (単位:)		単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)	0.00		0.00	
	2					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	位当た コスト 総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
		方法					一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
の が 困 難標	1	活動 内容						目標			
難な場合	2	成果 内容						達成 状況			
	<u> </u>		・ 今後の方向性 (実施計画)		☑ 継 続		□縮小		□ 厚		終期の設定
(4)総	(4)総合評価		評価の説明	各処理場及びポンプリ 事務簡素化等、効率化 今後も川面下水処理:	を目指し	て取組み	、一定の効果	が得られ	た。		るなど、経費節減、

所属名	水再生室				
事務事業番号	00781	事業名	川園ポンプ場管理事業(下水道特別会計)	事業区分	内部管理

	<u>現点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
ш та 	107]兀灬	加州	1. (1) 役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			① 投引力担の観点がら足で、1100 関子のあり力は廻りですが。 	2	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	3	
				5	 点
(1)	妥当性 (20点)	18	3社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	J	<i></i>
			○社会状況の変化で時間の経過に伴い、事業の失態思報が得れていると70%。 	5	 点
			a. 失過感報はする頃じている。(5点) 4 利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	3	<i></i>
			・	5	 点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	<u> </u>	
			① / 1 到 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	5	 点
			a. 冶動指標や有効指標には、他川との比較も可能な、それぞれがの定量的な指標設定をしている。(5点) ②事業の目的と受益者が一致していますか。	3	
	有効性 (20点)		②	5	<u></u>
(2)		20	a. 事業の自的と受益有は光生に一致している。(5点) ③事業は目標どおりに進捗していますか。	<u> </u>	点
				F	
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点) 	O O	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 		<u> </u>
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。 		<u> </u>
			b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(3)	効率性 (20点)	18	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
	(20),,,,		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 ・・・・・・・		
			内部管理 		点
			②サービスの水準は適正ですか。		
(4)	公平性 (20点)	0	内部管理		点
	(20点)		③適正な受益者負担を求めていますか。 		
			内部管理		点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			内部管理		点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
(5)	持続可 能性	18	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
, - /	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名 水再生室	事務事業番号 00781							
2 各視点からの評価の点数で	がは表れない事項(必要に応じて	こ記載)						
3 事務事業の現状分析								
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 しとしての取組	☑ 部として重点的な取組	□ その他					
(2)各視点からの評価結果	安当性 20 持続可能性 5 10 5 Aphe Aphe							
(3)現状分析	で効率的な運用が出来ている。 持な運用を行うためにも、長寿命化計けた効果的な保守点検に取り組ん	は、浸水被害の防止・公共用水域の水質係 持続可能性については、耐用年数が大幅に 十画のもとで順次改築・更新を実施し、他の でいる。 共に、ますます厳しくなる水質基準に対応す	:過ぎた設備の多い中、計画的 設備等についても延命化に向					
1 その他(国. 広の動向かじ	当該事業に関係する特記事項							
サ (V)に(当・かV)判別のよ	コの事本に関係する付記事場	,						

事務事業名	水質管理指導事業(下水道特別会計)						
担当部名	下水道部	室課名	水再生室	室課長名	井戸 清隆		

	于切于木叶	N 文																			
(1)	事業開始年度	昭和49年度			改正	冬個	列の水質使用	田料で)—;	대 라 T	T.										
(2)	直近の改正	平成25年度			内容	木的	小小八尺尺	л 44∨.	,	ib cX T	<u>L</u>										
(3)	根拠法令等	下水道法、吻	で田市	下水道条	:例																
		□ 全部	[☑ 一部	(上乗せ	大横	出し等あり)		□ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックし#	た場合は	その説	明	除害施設の	設置等	に係	る水質	重基準	<u>E</u>									
(5)	総合計画の体系	章	6 多	そ全で魅	力的なる	まちこ	づくり					節			2		弁	細節		70	
		:			×	分	□内部	管理			建設	建設事業 ☑ その他			<u> </u>				<u> </u>		
		対象 (誰を、何を)			範圍	囲等	公共下水道	道を使	三月す	る事	業所	Ť									
(6)	目 的	目標 (どういう状態にしたいのか) 水質				重基2	基準違反の排水を出す事業所をなくす。														
		結果 (どのような効果が得られるのか)					K処理場の処理機能の維持及び放流水を良好に保つ。														
(7)	事業概要 H27事業別	法令に基づく				事業i	T :	、採水	<、指 ———					<u> </u>			1	保つ。 	小声	——————————————————————————————————————	-1
(8)	予算コード	会計	3	款		1	項	1		E		5	大事第	Ę	2	中事第	Ę	1	小事	美	1
		項目								6年度 年度)						7年度 年度)				成28年 016年度	
							予算(千円)			ž	央算((千円)	予算	拿(干	-円)	決算	 記込	(千円)	予:	 算(千P	円)
			費(A)			3,2	242			2,621			3,785			3,085			3,896		
		人件費 人件費	大件費 職員数			人	2.00		2.00)	2.00				2.00			2.00		
				·額(B)		千円 15		15,8	884	84 15,034		1	15,912								
	+ * + 1			E(A+B)	19,126			17,655						18,997	·					
(9)	事業費と 財源の内訳		特定期	<u>'源(C)</u>			15,884				15,034			15,912			18,997				
		<u> </u>		国 —— 府					0				+	0						0 0	
		訳 		 その他				15.8	884	15,034										 15,864	
				担(D)					242			2,621			3,785			0			3,896
			ţ	也方債					0			C)		0			0			0
		内 訳	7	その他				3,2	242			2,621			3,785			0			3,896
		<u> </u>		般財源					0			C)		0			0			0
				(C+D)				19,1	126			17,655	5		19,697			18,997			19,760
		□ 直接	失死							<u> </u>	章元 日日	 事業所									
							委託先	-	① ②	可里	証ツ	事未加									
		☑ 委託又は一部委託			;		× 1070	_	3												
(4 0)	実施方法					主	 Eな委託内?		_	物質	等に	 係る水質	 検査								
(10)	(該当するもの は全部チェック)							(1												
	i& 土 ip / エンソ/ 	□ 補助	カ金∙負	担金			交付先	<u> </u>	2												
								(3												
		□ その他					内容														

事業番号 00782

)指標等	指標項目	∃		項目	平成26年 (2014年		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			水質検査検体		目標値	(単位:検体)		113.00	116.00	120.00
		指標 内容			実績値	(単位:検体)		149.00	134.00	
	1					達成度(%)		131.9	115.5	
		目標値	年間計画予定検	体数	単位当た	総事業費(単位:千円)	118.49		141.77	
1 ————————————————————————————————————		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
活動指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
			基準適合事業所		目標値	(単位:事業所)		56.00	62.00	63.00
		指標 内容			実績値	(単位:事業所)		50.00	58.00	
	1					達成度(%)		89.3	93.5	
		目標値 の積算	立入検査計画の	ある事業所(実数)	単位当た	総事業費(単位:千円)		353.10	327.53	
2 一 成		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
成果指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00		0.00	
(3) が 困 難標	1	活動 内容					目標			
₩な場合 場で示す	2	成果 内容					達成状況			
	•	4	- 今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	□縮小		_ J	廃止 □	終期の設定
(4)総	(4)総合評価		評価の説明			国出審査により規制対 くことで目的が達成でき				

所属名	水再生室				
事務事業番号	00782	事業名	水質管理指導事業(下水道特別会計)	事業区分	その他

	<u>現点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
<u>птіш</u> 	1071九	加州	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			① 投 刮 万 担 の	F	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	J	
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	 点
(1)	妥当性 (20点)	16	3社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	J	
			b. 実施意義は今もある。(3点)	3	 点
			0. 失過急報はするのも。(0.kk)	3	
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	 点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	3	
			① / □ 到 11 付票 * 行 刈 11 付票 で 1 じ で 1 じ こ 足 重 的 な 11 行票 改 足 を 1 〕	Q	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	J	从
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	F	 点
(2)	有効性 (20点)	18	a. 事業の目的と受益者は先生に一致している。(3点) ③事業は目標どおりに進捗していますか。	5	
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点) 	ð	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	_	<u> </u>
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。	_	<u> </u>
			b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。	_	
(3)	効率性 (20点)	18	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
	(== / /		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	_	
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	_	
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 - ************************************		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
(4)	公平性 (20点)	18	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
	(20無)		③適正な受益者負担を求めていますか。 		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 	 E	
(5)	持続可 能性	20	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	: :	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	:·····	
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	水再生室	事務事業番号	00782									
2 各視点	各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)											

3 事務事業の現状分析

3 争扬争未以犹然为彻 ————————————————————————————————————			
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	安当性 20 10 5 0 分平性 対率性	
(3)現状分析	同事業は実施され、事業費の水準も 効率性については、規制項目が増える。 さらに部内の類似する分析を一招 有効性については、本事業費のほど 査費用であるため、水質検査検体数	えて行く中、事業所に応じた分析項目を見	見直し、極力項目数を絞ってい 所への立入検査時の水質検 業所数としている。実際に事業

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

今後も下水道法や市条例の改正がある場合は、タイミングよく対象事業者にその内容をホームページや立入検査等を通じて情報発信していく 必要がある。

また、平成25年度より、特定施設関連の届出義務がある事業者に対して、開発事業事前協議承認申請時に周知文書を配布し、届出漏れが無いようにしている。

事務事業名	下水処理場整備事業(下水道特別会計)									
担当部名	下水道部	室課名	水再生室	室課長名	井戸 清隆					

	于加于木VM	N 文														
(1)	事業開始年度	不明			改正	なし										
(2)	直近の改正	なし			内容	/4C										
(3)	根拠法令等	下水道法、都	『市計画	法												
		□ 全部		一部(上乗せ	€せ、横出し等あり) ☑ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)								IJ)		
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした	場合は	その説	明										
(5)	総合計画の体系	章	6 安全	全で魅力	力的なる	まちこ	づくり				節		2		細節	70
					×	区分 口 内部管理				建設	事業	□ その	他	<u> </u>		
		対象 (誰を、何を)			範圍	囲等 下水処理場で国土交通省が定めた標準耐用年数を経過し、機能劣化及び老朽化した施設・設備										
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	こしたいの)か)	設備	 備の更新等による機能回復及び省エネルギー化を図る										
		結果 (どのような効!	果が得られ	れるのか) 下力	k処型	く 処理場の処理機能の確保及び省エネルギー効果が得られる									
(7)	事業概要 H27事業別	下水処理場(1		建設)						1 				1
(8)	予算コード	会計	3	款		1	項	2			2	大事業	2	中事業	1	小事業 1
			項	目				平成2 (2014					平成2 (2015	7年度 年度)		平成28年度 (2016年度)
							予算(千	千円)		決算(千円)	予算(千円)	決算見過	込(千円)	予算(千円)
			(A)		77,7				303,181			526,811		447,299	674,387	
		人件費	職員数			人	5.99		5.99		7.49		7.49	8.49		
		7 411 32	総客			円	47,573		45,027		59,591			59,591	1 67,34	
	-1- -114- -11 - 1		事業費)		125,329				348,208				506,890	
(9)	事業費と 財源の内訳		特定財源				68,631				153,354	+			506,890	
		内		国 —— 府			18,000			109,500					219,000	296,500
		訳 ·		<u>///</u> の他				50,631			43,854				287,890	
			市負担					56,698					304,018		0	377,173
		$\widehat{}$	地	方債				53,700			194,700		300,300		0	376,500
		内 訳	そ	の他				2,998			154		3,718		0	673
		\smile		段財源				0			0		0		0	0
			け源計(€	C+D)				125,329			348,208		586,402		506,890	741,730
		☑ 直接	美施					1								
							委託先	2								
		□ 委託	E又は一	部委託	•		21070	3								
(40)	実施方法					主	 こな委託内容									
(10)	(該当するもの は全部チェック)							1								
	はエロノエンソ)	□ 補助	カ金∙負担	旦金			交付先	2								
								3								
		□ その他					内容									

2 評		指標等	指標項目		項目			6年度	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			社会資本総合整備計画の国土交通省の同意、国庫補助金事業採択の内示を受け、交	目標値	<u>i</u>)	単位:件)		5.00	9.00	11.00
		指標 内容	付金を活用した計画的な整備を図る	実績値	<u>i</u>)	単位:件)		4.00	8.00	
	1				達成度	(%)		80.0	2.88	
		目標値	当該年度発注予定本体工事件数を目標値 とし、執行済工事件数を実績値として算出	単位当た	総事業費	費(単位:千円)		22,414.50	63,361.25	5
1		の積算 方法		りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
活動指標				目標値	((単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容		実績値	((単位:)		0.00	0.00	
	2				達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値		単位当た	総事業費	費(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法		りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
			社会資本総合整備計画の策定期間で、長寿命化計画に基づいた計画的な機器の改	目標値	<u>í</u>)	単位:件)		17.00	27.00	27.00
		指標 内容	築更新を図る。 	実績値	<u>í</u>)	単位:件)		17.00	7.00	
	1				達成度	(%)	100.0		25.9	
		目標値 の積算	社会資本総合整備計画の策定期間に改築更新すべき機器の件数を目標値とし、改築	単位当た	総事業費	費(単位:千円)		5,274.00	72,412.86	5
2 		方法	更新済機器の件数を実績値として算出	りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
成果指標				目標値	((単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容		実績値	((単位:)		0.00	0.00	
	2				達成度	(%)	0.0		0.0	
		目標値 の積算		単位当た				0.00	0.00	
		方法		りコスト			0.00		0.00	
の3 が。	1	活動 内容					目標			
困難な場合	2	成果 内容					達成 状況			
	1		 今後の方向性 (実施計画) 拡充 □	✓ 継続	Ē	□縮小	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		————————————————————————————————————	終期の設定
(4)総:	4)総合評価		社会基盤の一部であ 民ニーズも高く、市民生 れており、事業費の増加 な改築・更新を推進し、 また、施設の地震対策 評価の説明	活には必 nが見込。 施設機能	が要不可な まれること の確保 A	文で継続すべる こから、策定済 なび経費の軽減	き事業で の長寿6 減を図る	ある。現在 う化計画に 必要があ	Eも、施設・設備(E基づき、計画的 る。	の老朽化が懸念さ

所	属名 水	再生室				
│事務事	業番号 00	783	事業名	下水処理場整備事業(下水道特別会計)	事業区分	建設事業

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
тіш 	107]无	二川川流	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			① 没	F.	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	J	
				5	 点
(1)	妥当性 (20点)	20	3社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	J	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	 点
			4 スル思報はする頃とである。(3M/) 4 利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	J	
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	 点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	<u> </u>	,m
			・	3	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	<u> </u>	
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	 点
(2)	有効性 (20点)	18	a. 事業の日間と支 監 省は光主に 或じている。(3 <u>M</u>) ③事業は目標どおりに進捗していますか。	J	
				5	
			a. 日標を工画るとは日標とおりの進歩状況である。(5点) 4市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	J	点
			4) 氏に説明できる共体的な成果を上げていますが。 	F	<u></u>
				5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。 - 単位光はリコストは第五でする。(5-5)		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。	0	
(3)	効率性 (20点)	18	b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
	(== 71117		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 	F	<u> </u>
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 	F	<u> </u>
			a. 不特定多数を対象としている。(5点) 	5	点
			②サービスの水準は適正ですか。	_	
(4)	公平性 (20点)	20	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
	(20/11)		③適正な受益者負担を求めていますか。	_	
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 	 :	_
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
	14.64		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 	 :	
(5)	持続可 能性	20	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	 :	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	水再生室	事務事業番号	00783	
2 各視点	いらの評価の点数では表れ	ない事項(必要に	応じて記載)	

3 事務事業の現状分析

0 争纷争未以犹认为彻			
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 としての取組	☑ 部として重点的な取組	□ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	妥当性 15 10 5 0 有効性 公平性 刻率性	
(3)現状分析	基準を満たす放流水質を確保するたることで早期対応に努めている。持続であるが、国の指針を基に積算業務	共用水域の水質保全の観点から適正では、 めに有効と考える。効率性については、 で能性については、他市との事業規模が 等を遂行しており、全国的に見て平均的の 念されており、策定済の長寿命化計画に ている。	関係部門とのさらなる連携を図 が異なるため比較・分析が困難 と考える。また、事業費につい

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

インフラ整備の老朽化問題に加え、近年の震災被害の状況などから、下水処理施設の地震対策について優先的な対策が求められている。

事務事業名	下水処理場・ポンプ場設計支援システム事業(下水道特別会計)									
担当部名	下水道部	室課名	水再生室	室課長名	井戸 清隆					

<u> </u>	中加中未以	1女															
(1)	事業開始年度	平成13年度			改正	なし											
(2)	直近の改正	なし			内容	なし											
(3)	根拠法令等	下水道法、者	『市計画	法													
		□ 全部		一部	(上乗せ	せ、横出し等あり) ② なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)								(J)			
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした	場合は	くの説	明	A Company of the comp										
(5)	総合計画の体系	章	6 安:	全で魅	力的なる	まちこ	づくり				節		2		細節	70	
		<u> </u>		×	区分 □ 内部管理					 事業	□ そのイ	也	<u> </u>		<u>:</u>		
		対象 (誰を、何を)			範	囲等 下水処理場・ポンプ場の整備事業における事務処理											
(6)	目 的	目標 (どういう状態)	こしたいの)か)		 種データ(図面等を含む)の蓄積、管理及び効率的な利用。設計・積算事業の正確かつ効率的な処理。国費 請及び調書作成における国・府等の事務処理に適合させる。											
		結果 (どのような効!	果が得られ	れるのか		吹田市の特性に合わせた効率的な事業計画の作成ができる。設計・積算業務の迅速化及び省力化に伴う人件費の節約が図れる。											
(7)	事業概要 H27事業別		型理場・ポンプ場整備事業における事務のシステム化及び電算化										.1. = 444				
(8)	予算コード	会計 ————————————————————————————————————	3	款	,	1	項	2		目	2	大事業	3	中事業	1	小事業	<u> </u>
			項	目					【26年 14年月				平成2 (2015	7年度 年度)		平成28年度 (2016年度	
							予算(千円)		決算(千円)	予算(千円)	決算見過	人(千円)	予算(千円)
			<u> </u>	324					417		384		384		356		
		人件費				人 —	0.01					0.01			0.01		0.01
		44		額(B) (A L D			80										
	事業費と		事業費 特定財		5)		404 244				493 309					+	
(9)	財源の内訳			<u>源(U)</u> 国					0		0						263
		内 訳		<u>'''</u> 府					0		0	+			0		0
			そ	の他				24	14		309	274			464		263
			市負担	(D)				16	60		183		190		0		173
		内		方債					0		0		0		0		0
		訳		の他				16	60		183		190		0		173
				<u>と対源</u> C + D)				40	0		492		464		464		436
				C 1 D)					74		432		404		404		430
								1									
		□ 乗ぎ	τ η (+	如禾司	r.		委託先	2									
	実施方法	□ 委託	E又は一	可安司	G			3									
(10)						主	な委託内	_	ı								
/	(該当するもの は全部チェック)							1									
		│ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │	カ金∙負技	旦金			交付先	2									
							 内容	3	リ								
		□ その	他	□ その他													

	<u>ш</u> ••	/1日1示 -	指標項目	■		項目		平成26 (2014年		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			ム・ソフトウェアに	テムが、国・府等のシステ 対応しているか、不具合が	目標値	()	単位:本)		1.00	3.00	0.00
		指標 内容	ないかを随時確認	忍し対応する。	実績値	()	単位:本)		1.00	3.00	
	1					達成度	£(%)		100.0	100.0	
		目標値		入本数	単位当た	総事業費	費(単位:千円)	493.00		154.67	
1) 运		の積算 方法			りコスト	スト 一般財源(単位:千円)			0.00	0.00	
活動指標					目標値(単		(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値		(単位:)		0.00	0.00	
	2				達成度(%)				0.0	0.0	
		目標値 の積算		<u>È</u>		総事業費	費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
			務において、シス	プ場整備事業等の設計業テムを利用することによ	目標値	()	単位:件)		15.00	13.00	14.00
		指標 内容	り、効率的に行っ	た設計業務。	実績値	()	単位:件)		12.00	11.00	
(0	1					達成度(%)		80.0		84.6	
		目標値 の積算	目標値とし、シス・	事で、すべての設計業務をテムを利用した設計業務数				41.08		42.18	
2 。 成		方法	を実績値として算	.出。	りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
成 果 指 標					目標値		(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値		(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度	£(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た [費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00		0.00	
(3)指標	1	活動 内容						目標			
 な場合 よっぱっぱっぱっぱい	2	成果 内容						達成状況			
			今後の方向性 (実施計画)	□拡充	☑ 継続	Č	□縮小	`		廃止 □	終期の設定
(4)総合評価		価	評価の説明	単価改正や土木工事 欠な事業である。今後もいく。							

所属名	水再生室				
事務事業番号	00785	事業名	下水処理場・ポンプ場設計支援システム事業(下水道特別会計)	事業区分	建設事業

評価	iの視点	評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	·i	
4 \	妥当性	10	b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
1)	(20点)	18	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	.i	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	Ji	
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
0)	有効性	10	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
2)	(20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
2)	効率性	10	b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
3)	(20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
4)	公平性	20	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
(4)	(20点)	20	③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
5)	持続可	20	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
5)	能性 (20点)	20	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名 水再生室	事務事業番号 00785		
2 各視点からの評価の点数で	では表れない事項(必要に応じて	記載)	
3 事務事業の現状分析			
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能	妥当性 10 10 5 0 有効性 小文平性 小文平性	
(3)現状分析	公平性が確保されている。有効性、 縮と併せて、正確性の確保にも大き	設計積算は、国、府等の統一された基準に効率性については、積算システム等の導。 〈寄与している。積算システムは、建設3音 続して工事発注が必要であり、更新時等に	入により、積算時間の大幅な短 『(土木部、都市計画部、下水
4 その他(国・府の動向など	当該事業に関係する特記事項)		
	コ以中木に関係する付配争場)		

事業番号 00786

事務事業名		Ш	園ポンプ場整備事業(下水道特別会計)		
担当部名	下水道部	室課名	水再生室	室課長名	井戸 清隆

	争務争系の機	双安																	
(1)	事業開始年度	不明			改正	+~1													
(2)	直近の改正	なし			内容	なし													
(3)	根拠法令等	下水道法、都	市計画	 آ法															
		□ 全部			上乗せ	、横	出し等あり)		回な	し(国	国•府制	引度もしく	ま法令等	手で下	ちが実施す	⁻ る義務a	5Y)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェッ	ックした	−場合は・	その説	明													
(5)	総合計画の体系	章 6	安		り的なる	まちこ	づくり				節	5		2			 細節	7	0
		Ī		·	X	分	□内部	管理			設事	 業	□ そ(の他				<u> </u>	<u> </u>
		対象 (誰を、何を)			範圍	囲等	川園ポンフ	プ場で国	ユニム	€通省(D 定め	た標準	ҍ耐用年数	なを経過	I し、機		び老朽化	の著しい施	 設•設備
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	したい	のか)	設備	前の夏	更新等によ	る機能	—— 迴復	及び省	 ゚゚エネ <i>,</i>	ルギー	・化を図る						
		結果 (どのような効果	3 よミクロ こ	470h		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	プ場の雨	水排水	 〈及び	汚水归	三送機	能の確	霍保及び省	ゴエネル	ギー	·効果が得	られる		
(7)	事業概要 H27事業別	川園ポンプ場			設備 <i>の</i>)建設 	I i						1 == 4116			بالد باد علاد		عد الله علاد	
(8)	予算コード	会計	3	款		1	項	2		目		1	大事業	6		中事業	1	小事業	1
			項	目					成26 2014年							7年度 年度)		平成2 (2016	
							予算(千円)		決算	決算(千円) 予			(千円)		決算見記	決算見込(千円)		千円)
			事業費	隻(A)				242,4	411		1	85,823	1	8,	468		(142,959
		 人件費 		战員数 ————		<u></u>		2	2.00			2.00			2.00		2.00		2.50
				:額(B)		·円			884	15,034						15,912		19,830	
	古光串上			(A+B)				258,2				00,857			380		15,912		162,789
(9)	事業費と 財源の内訳	1	侍 正財	源(C)				110,4				00,211	+		961		15,912		77,085
		分		国 府				94,0	000		1	85,500 0		<u>ئ</u>	000		3,000		57,000 0
		訳 <u></u>		 その他				16.4	454			14,711	+	15.	961		12,912		20,085
			市負担					147,8				00,646			419		(85,704
		$\widehat{}$	坮	也方債				147,	700		1	00,500		5,	400		(85,700
		内 訳	₹	その他				-	141			145			19		(4
		<u> </u>		般財源					0			1			0		(0
				(C+D)				258,2	295		2	00,857		24	380		15,912	2	162,789
		☑ 直接	美施			<u> </u>			1										
	実施方法	□ 委託	:又は-	−部委託			委託先		② ③										
(10)						É	とな委託内												
	は全部チェック)	┌┐ ┼ ╵	人	中心			ᅔᄼ	-	1										
		□ 補助	≖'貝	担金			交付先	<u> </u>	3										
		□ その	他				内容		<u> </u>										

		指標等	指標項目		項目			6年度 年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			社会資本総合整備計画の国土交通省の同意、国庫補助事業採択の内示を受け、交付	目標値	<u>i</u>)	単位:件)		3.00	1.00	3.00
		指標 内容	金を活用した計画的な整備を図る。	実績値	1)	単位:件)		3.00	0.00	
	1				達成度	(%)		100.0	0.0	
		目標値	当該年度発注予定本体工事件数を目標値 とし、執行済工事件数を実績値として算出	単位当た	総事業費	費(単位:千円)		66,952.33	0.00	
1 ~		の積算 方法		りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
活動指標				目標値	((単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容		実績値	((単位:)		0.00	0.00	
	2				達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値		単位当た	総事業費	費(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法		りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
			社会資本総合整備計画の策定期間で、長寿命化計画に基づいた計画的な機器の改	目標値	<u>í</u>)	単位:件)		3.00	4.00	4.00
		指標 内容	築更新を図る。 	実績値	<u>í</u>)	単位:件)		3.00	0.00	
	1				達成度	(%)		100.0	0.0	
		目標値 の積算	社会資本総合整備計画の策定期間に改築更新すべき機器の件数を目標値とし、改築	単位当た	総事業費	費(単位:千円)		66,952.33	0.00	
2 		方法	更新済機器の件数を実績値として算出	りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
成果指標				目標値	((単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容		実績値	((単位:)		0.00	0.00	
	2				達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算		単位当た	総事業費	費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法		りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
	1	活動					目標			
の3 が 困指		内容					ᄓᅑ			
困難ない		成果					達成			
な示っ	2	内容					状況			
	1		<u> </u> 今後の方向性 □ 拡充 □	 ☑ 継 <i>続</i>		□縮小	<u> </u>			 終期の設定
(4)総	合評	価	(実施計画) 社会基盤の一部であ 民ニーズも高く、市民生れており、事業費の増加を改築・更新を推進し、また、施設の地震対象	三活には必 加が見込る 施設機能	が要不可な まれること きの確保ス	欠で継続すべる こから、策定済 及び経費の軽済	き事業で の長寿命 減を図る	ある。現在 f化計画に 必要があ <i>。</i>	Eも、施設・設備の に基づき、計画的 る。	D老朽化が懸念さ

1 -1 1	00786	事業名	川園ポンプ場整備事業(下水道特別会計)	事業区分	建
所属名	水再生室				

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
тіш 	107]无	二川川流	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			① 没 司 刀 担 の 戦 点 か ら 元	F.	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	J	
				5	 点
(1)	妥当性 (20点)	20	3社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	J	从
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	 点
			4 スル思報はする頃とである。(3M/) 4 利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	J	
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	 点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	<u> </u>	,m
			・	3	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	<u> </u>	
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	 点
(2)	有効性 (20点)	18	a. 事業の日間と支 監 省は光主に 或じている。(3 <u>M</u>) ③事業は目標どおりに進捗していますか。	J	
				5	
			a. 日標を工画るとは日標とおりの進歩状況である。(5点) 4市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	J	点
			4) 氏に説明できる共体的な成果を上げていますが。 	F	<u></u>
				5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。 - 単位光はリコストは第五でする。(5-5)		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。	0	
(3)	効率性 (20点)	18	b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
	(== 71117		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 	-	<u> </u>
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 	F	<u> </u>
			a. 不特定多数を対象としている。(5点) 	5	点
			②サービスの水準は適正ですか。	_	
(4)	公平性 (20点)	20	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
	(20/11)		③適正な受益者負担を求めていますか。	_	
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 	 :	_
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
	14.64		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 	 :	
(5)	持続可 能性	20	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	 :	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	水再生室	事務事業番号	00786	
2 各視点	いらの評価の点数では表れ	ない事項(必要に	応じて記載)	

3 事務事業の現状分析

		I	
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 □ としての取組	☑ 部として重点的な取組	□ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	安当性 15 10 5 0 公平性 対率性	
(3)現状分析	基準を満たす放流水質を確保するたることで早期対応に努めている。持続であるが、国の指針を基に積算業務	共用水域の水質保全の観点から適正では、 めに有効と考える。効率性については、 見可能性については、他市との事業規模が 等を遂行しており、全国的に見て平均的の 念されており、策定済の長寿命化計画に ている。	関係部門とのさらなる連携を図 が異なるため比較・分析が困難 と考える。また、事業費につい

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

インフラ整備の老朽化問題に加え、近年の震災被害の状況などから、下水処理施設の地震対策について優先的な対策が求められている。

事業番号 01322

事務事業名	下水処理場高度処理整備事業(下水道特別会計)								
担当部名	下水道部	室課名	水再生室	室課長名	井戸 清隆				

	争務争系の機	双安																
(1)	事業開始年度	平成19年度		改	文正 /	וה'												
(2)	直近の改正	なし			P容 (なし												
(3)	根拠法令等	下水道法、都	市計画活	去														
		□ 全部		一部(上	_乗せ、	横出し等	「あり))		☑ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)								
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした均	易合はそ	の説明	1												
(5)	総合計画の体系	章 6	安全	҈で魅力Ⅰ	的なます	ちづくり						節		2		細節	70	
			<u> </u>		区分	} 🗆	内部領	管理		☑ 頦	設事		□ その	 他	<u> </u>		<u> </u>	
		対象 (誰を、何を)			範囲:	等下水	——— 処理均	場のフ	 火処理	上施設								
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	こしたいのフ	か)		 道法に基 削減する	づくオ	大阪湾	湾流域	別下れ	水道	整備総合	計画に示る	される処理	水質を達	成し、窒素	・りん等の排	出負荷
		結果 (どのような効果			下水机	処理場か	 ら排!	出され	 1る汚	 濁負右	計量力	が削減さ	 れ、河川及	が大阪湾	の水質が	白上する		
(7)	事業概要 	下水処理場(こおける語	施設へ						on the		十市 **		- 古安学		小事業		
(8)	予算コード	会計		款		項				目			大事業		中事業		小事業	
			項目]					⁻ 成26 2014	年度)					7年度 年度)		平成28: (2016年	
						3	·算(-	千円))	決	算(千	-円)	予算(千円)	決算見	入(千円)	予算(千	一円)
			事業費(A)						0	0			0		0		0	
		人件費		総額(B)			0.00							0.00		0.00		
		4//				9						0		0		0		0
	事業費と		事業費(<i>/</i> 特定財源						0				+			0		0
(9)	財源の内訳			<u>. () </u>					0	_						0		0
		内 ::::::::::::::::::::::::::::::::::::							0	0		+			0		0	
		□/\ <i>□</i>	その	D他					0	0		0			0		0	
			市負担(0			0		0		0		0
		内		与债					0			0		0		0		0
		訳		か他					0			0		0		0		0
				:財源 					0			0		0		0		0
				, , ,					<u> </u>									
									1									
		□ 季缸	三又は一部	邻季 託		委部	托先		2									
	実施方法			1 × 10		\ L T		_	3									
(10)						主な委託	計内和	谷										
	は全部チェック)	口始的]金•負担	全		交付	† #	-	① ②									
		□ TĦ炒.	」业 只记	314		X IX	. /b	-	3									
	-	□ その他				内	 容											

		/]日1示 ¬	指標項目	1		項目		平成2 (2014	6年度 年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			意、国庫補助事業	備計画の国土交通省の同 にはいる。 には、 にはいる。 にはいる。 にはい。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはい。 にはいる。 にはい。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはい。	目標値	<u>(i</u>	<u></u> 単位:件)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容	金を活用した計画	回的な整備を図る	実績値	<u>(i</u>	単位:件)		0.00	0.00	
	1					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値		定本体工事件数を目標値 件数を実績値として算出	単位当た	総事業費	費(単位:千円)		0.00	0.00	
1) 运		の積算 方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
活動指標					目標値	((単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	((単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費	費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
			た高度処理能力	(平成26年度)に位置付け の整備(目標年度:平成34	目標値	<u>(</u>)	単位:%)		100.00	100.00	100.00
		指標 内容	年度)		実績値	<u>i</u>)	単位:%)		39.90	39.90	
	1					達成度	(%)		39.9	39.9	
(2)成		目標値 の積算	理能力(平成34	場における整備済高度処 年度目標達成能力:42,9	単位当た	総事業費(単位:千円)			0.00	0.00	
		方法	00_/目)		りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
成果指標					目標値	((単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	((単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費	費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
の が 困 難 標	1	活動内容						目標			
無な場合 場合	2	成果内容						達成 状況			
		4	今後の方向性 (実施計画)	□拡充	☑ 継続	Ē	□縮小	•		廃止 □	終期の設定
(4)総合評価	価	評価の説明	平成20年度に策定さ 年度までに流出負荷量 高度処理化を計画的に ため、平成37年度まで	目標値() 進めてい	放流水水 るところ ⁻	質基準値)が であり、継続カ	定められ 「必要な事	た。その 薬と考え	目標を達成するた	めに既存設備の	

所属名	水再生室				
事務事業番号	01322	事業名	下水処理場高度処理整備事業(下水道特別会計)	事業区分	建設事業

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
	100 DUM	ат іш лік	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			・	F.	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	J	
			b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	 点
(1)	妥当性 (20点)	18	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	3	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	 点
			4利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	3	
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	 点
			1活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	3	
			① / □ 到 11 付票 * 行 刈 11 付票 で 1 じ で 1 じ こ 足 重 的 な 11 行票 改 足 を 1 〕	2	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	J	
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	F	
(2)	有効性 (20点)	12	a. 事業の目的と受益者は先生に一致している。(3点) ③事業は目標どおりに進捗していますか。	5	点
	\ = - / /			•	
			b. 目標を下回る進捗状況である。(3点) 	3	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	_	<u> </u>
			c. 具体的な成果があまりない状況である。(1点)	1	点
			①単位当たりコストは適正ですか。 ************************************	_	
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(3)	効率性 (20点)	18	b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
	(20)11()		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	_	
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 	_	
			a. 不特定多数を対象としている。(5点) 	5	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
(4)	公平性 (20点)	18	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
	(20無)		③ 適正な受益者負担を求めていますか。 		
			b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点) 	3	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。 		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 	 :	
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
	1+ 6+		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 	 :	
(5)	持続可 能性	18	b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	 :	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	水再生室	事務事業番号	01322	
2 各視点	いらの評価の点数では表れ	いない事項(必要に	応じて記載)	

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 しとしての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	妥当性 20 10 5 0 公平性 対率性	
(3)現状分析	の事業費を要するため、下水道部全 37年度の事業完成を目指し、有効性	達成を目標とした事業であり、妥当性及で体事業費の平準化等にも留意の必要が、効率性についても更なる検討を進める間も長期に及ぶため、他市の動向や社会	あるが、達成年限である平成 。大阪湾流域の公共下水道全

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

大阪湾の水質環境基準を達成するため、下水道整備に関する総合的な基本計画として、平成20年度に「大阪湾流域別下水道整備総合計画」の基本方針が策定され、その基本方針の中で、許容流出負荷量の府県配分及び下水処理場の整備目標が設定された。大阪湾に係る下水処理場の整備目標(年間平均値)は次のとおりである。[COD:8mg/L、窒素:8mg/L、りん:0.8mg/L]

事務事業名		南吹田下水処理場汚泥処理施設整備事業(下水道特別会計)								
担当部名	下水道部	室課名	水再生室	室課長名	井戸 清隆					

1	事務事業の概	t 罗														
(1)	事業開始年度	平成13年度		改正	+~1											
(2)	直近の改正	なし		内容	なし											
(3)	根拠法令等	下水道法、都市	市計画法													
		□ 全部	□一部	(上乗せ	大横出	し等あり	J)		☑ な	し(国・府行	制度もしくは	法令等で	市が実施する	る義務あ	IJ)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェッ	クした場合に	はその説	!明											
(5)	総合計画の体系	章 6	安全で魅	力的な	まちづく	IJ				節		2	紐	節	70	
		:		×	[分 [] 内部	管理		☑ 建	 設事業	□ その ⁽	 也	<u> </u>	<u>:</u>		
		対象 (誰を、何を)		範	正囲等 耐用年数を超過した南吹田下水処理場の汚泥処理施設											
(6)	目 的	目標 (どういう状態にし	<i>した</i> いのか)	汚派を図		処分方	式を見	 見直し.	、循環	型社会に対	応した施設・	へと更新し	、かつ処理:	コストの何	低減とCO2の削減	
		結果 (どのような効果)	結果 (どのような効果が得られるのか) 処理機能の確保及び維持管理費とCO2の削減													
(7)	事業概要 H27事業別	1			理施設で		├る汚 	泥を循		上会に対応し	T E	Ŀ理·処分	T i	できる施設を建設する。		
(8)	予算コード	会計	款	ζ		項			目		大事業		中事業		小事業	
						平成26 (2014 ^年					7年度 年度)		平成28年度 (2016年度)			
					予算(千円)	決算	算(千円)	予算(千円)	決算見込	(千円)	予算(千円)		
		事業費(A)				0				ס	0		0	0		
		します。 一大件費 一大件費			<u>人</u>	0.00		0.00				0.00	0.00			
		<i>λ</i> υ =	総額(B)		-円			0			0	0		0	0	
	事業費と		事業費(A+E 	3)				0			0		+		0	
(9)	財源の内訳		i定財源(C) 国 国			0					0 0			0	0	
		(内 一						0			0	0		0	0	
		訳 <u></u>	その他					0				0	0 0		0	
		Ī	市負担(D)					0		(D	0		0	0	
			地方債					0)	0		0	0	
		内 訳	その他					0			ס	0		0	0	
			一般財源					0			0	0		0	0	
			源計(C+D))				0			0	0		0	0	
		☑ 直接到	美施 —————					1								
		□ 委託》	又は一部委訂	ŧ		委託先		② ③								
/	実施方法				主な	委託内	 容									
(10)	(該ヨ9るもの							1								
	は全部チェック)	口 補助金	金•負担金] 3	交付先		2								
						3										
		 □ そのfi	□ その他													

	<u> </u>	/] 日 [示 ¬	指標項目	■		項目		平成2 (2014		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			意、国庫補助事業	備計画の国土交通省の同 に に に に に に に に に に に に に	目標値	<u>í</u>)	単位:件)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容	金を活用した計画	画的な整備を図る	実績値	<u>í</u>)	単位:件)		0.00	0.00	
	1					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値		定本体工事件数を目標値 件数を実績値として算出	単位当た	総事業費	遺(単位:千円)		0.00	0.00	
1) 运		の積算 方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
活動指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費	뤛(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
			できるだけ有効和	「処分するものだけでなく、 川用し、環境保全に寄与す	目標値	<u>i</u>)	単位:%)		100.00	100.00	100.00
		指標 内容	るための有効利用	刊率を設定	実績値	<u>i</u>)	単位:%)		100.00	100.00	
	1					達成度(%)			100.0	100.0	
(2)成果指標		目標値 の積算	下水汚泥資源有意 泥発生量)	効利用率(有効利用量/汚	単位当た	総事業費	遺(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が 困 が 指	1	活動内容						目標			
程 粗標で示す	2	成果 内容						達成状況			
			今後の方向性 (実施計画)		☑ 継続	_	□ 縮小		•		終期の設定
(4)総合評価	価	評価の説明	南吹田下水処理場のびセメント化としているがしている。長期に渡る安ニーズは高く、有効利用	が、事業者 記定的な処	が限定る L理が必要	されており急激 要であると共に	数な価格変 こ、下水道	変動や受 直資源とし	入量の制限等、7 ての有効活用に	安定要因が内在	

所属名	水再生室				
事務事業番号	01323	事業名	南吹田下水処理場汚泥処理施設整備事業(下水道特別会計)	事業区分	建設事業

評価	の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。			
(1)	妥当性 (20点)		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点	
		18	②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。			
			b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点	
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。			
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点	
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。			
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点	
(2)	有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。			
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点	
			②事業の目的と受益者が一致していますか。			
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点	
			③事業は目標どおりに進捗していますか。	••••••		
			b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点	
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。			
			c. 具体的な成果があまりない状況である。(1点)	1	 点	
	効率性 (20点)					
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点	
(3)		16	b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点	
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点	
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点	
	公平性 (20点)	20				
			a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点	
			a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点	
(4)						
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	 点	
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	 点	
	持続可 能性 (20点)	18			133	
(5)			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	 点	
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。			
			a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	 点	
			③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	 点	
			4)将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	 点	
		84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))			

現在は、様々な汚泥処理システムについて検討しており、将来を見据え、吹田市にふさわしいシステムを導入。									
3 事務事業の現状分析									
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 しとしての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他						
		妥当性 20							

01323

事務事業番号

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

水再生室

所属名

(2) 各視点からの評価結果

安定性、継続的な汚泥処理の確立と排出抑制、運搬による環境負荷の軽減、下水道資源の有効活用と事業成果は多岐に渡り、妥当性、公平性は高い。処理方法、エネルギー回収方法等、技術的選択肢が多いため、基本計画策定に際しては、他市事例や新技術等の情報収集を行い、有効性、効率性について検討を重ねることが必要と考える。巨額の事業費と併せて、運転管理、維持費等の継続的経費も含めたライフサイクルコスト全体について検討のうえ、積極的推進を図る必要がある。

10

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)